

森づくり活動の評価について（検討方向）

1 趣旨

近年、森づくり活動を行うNPOなどが増加しており、また、CSR活動の一環として取り組む企業も見られているところである。

一方、森づくり活動は、企業やNPOなどがそれぞれ試行錯誤しつつ行っており、どのような効果や成果があったのか、どのような課題があるのかといった情報が整理されていない状況となっている。

このような中、森づくり活動を広めるとともに、森づくりの質を高め、地域と連携し、継続性を確保していくためには、PDCAサイクルを確立することが重要である。

また、企業の参加を促し、継続性を持たせるためには、ステークホルダーに説明し、理解を得ることや、活動の体制を整え地域と連携していくことが重要である。

このため、森づくり活動の体制面や地域連携の取組、計画と実績、関係者の満足度について評価し、これを活用することにより、企業やNPOなどの森づくり活動を促進する。

2 評価の内容と活用

(1) 森づくり活動の区分

森づくり活動については多種多様となっているが、
植付や間伐など森林の整備に関するもの
歩道整備やパトロールなど森林の保全に関するもの
森林環境教育やシンポジウムなど森づくり活動の普及啓発に関するもの
の3つに区分する。

(2) 評価事項と評価内容

森づくり活動の評価事項と評価内容については、
森づくり活動の実績（CO2 固定量などへの貢献）
森づくり活動の体制面や地域連携の姿勢（法令遵守や地元参画などの取組）
森づくり活動の計画の妥当性（計画の達成度）
森づくり活動の関係者の満足度（アンケートによる参加者の満足度）
の4つに区分し、それぞれ毎に評価を行う。

(3) 森づくり活動の区分と評価事項

森づくり活動の区分毎の評価事項は次のとおりとする。
「森林の整備」と「森林の保全」については、全ての評価事項を対象とする。
「森づくり活動の普及啓発」については、CO2 固定などの把握が困難なことから「森づくり活動の実績」は対象外とする。

(4) 評価の単位

森づくり活動の評価単位は、森づくり活動1回毎に行う。例えば、
・年間10回行った場合にあっては、それぞれ毎に評価する。
・1回の活動の中に「森林の整備」と「森林の保全」と「森づくり活動の普及啓発」を組み合わせて行う場合にあっては1回でカウントする。
・2泊3日で行った場合にあっては1回でカウントする。

なお、同時に数力所で実施する等、様々な活動の形態が想定されることから、具体的な評価単位については今後検討する。

(5) 評価の手順

評価の手順は、

評価シートやアンケートを準備（極力簡素化する。）

森づくり活動の計画を報告（計画が無い場合は達成度の得点を与えられない。）

森づくり活動の実績、体制面や地域連携、アンケート結果を報告（アンケートが無い場合は満足度の得点とは与えられない。）

報告に基づき評価（評価に当たっては公平かつ客観的に実施。）

なお、森づくり活動の検証のあり方を含め、具体的な評価手順については今後検討する。

(6) 評価結果とその活用

森林の整備及び保全活動の実績については、一定の計算式によりCO₂固定量や代替法による換算金額を算出する。森づくり活動の「体制面や地域連携の姿勢」、「計画の妥当性」及び「関係者の満足度」についてはそれぞれ毎に点数化する。

なお、具体的な評価方法は今後検討する。

CO₂固定量と代替法による換算金額については補正無しとするが、点数化するものについては、参加者の規模に応じた補正などを検討する。（例えば500人の参加者で1回行ったものと、50人の参加者で10回行ったものでは同じ延べ参加者数でも点数が10倍となるため補正が必要。）

企業とNPOが協働で活動を行った場合等の活動1回毎のCO₂固定量や、点数などの企業とNPOへの配分については、経費の負担割合や、参加者数割合等に基づき配分する方向で今後検討する。

それぞれ1回毎の配分された点数については、マイレージのように加算していく。

評価結果については、

- ・企業やNPOへフィードバックする
- ・評価の高い事例については、具体的な取組内容を整理・分析し、情報を提供する
- ・評価結果に基づき、企業やNPOを格付け・表彰する

などにより、森づくり活動に参加する企業、NPO、参加者の増、質の向上、継続性の確保、地域との連携に活用する。

3 今後のスケジュール

第1段階 ・評価手法のたたき台の作成、プレ評価と分析

第2段階 ・評価手法の開発と検証

第3段階 ・運用と見直し

参考 1

森づくり活動の区分

区分	活動例	区分	活動例	区分	活動例
森林整備	地拵え	森林保全	歩道作設	森づくり 活動の普 及啓発	森林教室
	植付		歩道修理		自然観察会
	下刈		防護柵設置		シンポジウム
	除伐		看板設置		フォーラム
	つる切り		パトロール		森のコンサート
	間伐		ゴミ拾い		巣箱かけ
	枝打ち				
					

参考 2 - 1

実績調査シート

区分	作業種	NPO、ボランティアの実施			森林組合等への委託			計		
		面積	延人・日	経費	面積	延人・日	経費	面積	延人・日	経費
森林整備	植付									
	下刈									
	除伐									
	つる切り									
	間伐									
	枝打ち									

区分	作業種	NPO、ボランティアの実施			森林組合等への委託			計		
		数量	延人・日	経費	数量	延人・日	経費	数量	延人・日	経費
森林保全	歩道作設									
	歩道修理									
	防護柵設置									
	看板設置									

経費区分	金 額
〇〇企業	
〇〇NPO	
外部資金	
.....	
計	

参加者数区分	延人・日
〇〇企業	
〇〇NPO	
外部資金	
.....	
計	

参考 2 - 2

体制面や地域連携のアンケートシート

体制面	Q1	現地に責任者がいますか	はい	いいえ	わからない
	Q2	現地で安全対策を講じていますか	はい	いいえ	わからない
	Q3	森林法等の法令を遵守していますか	はい	いいえ	わからない
	Q4	土地所有者と必要な協定等を締結していますか	はい	いいえ	わからない
	Q5	活動についての、短期的、長期的計画がありますか	はい	いいえ	わからない
地域連携	Q6	地元から技術的な支援を受けていますか	はい	いいえ	わからない
	Q7	地元からも活動に参加していますか	はい	いいえ	わからない
	Q8	地元の行事等に参加していますか	はい	いいえ	わからない
	Q9	森づくり活動の計画の地元の意見を取り入れていますか	はい	いいえ	わからない
	Q10	……………	はい	いいえ	わからない

参考 2 - 3

計画達成度調査シート

区分	作業種	計 画		実 績	
		面積	延人・日	面積	延人・日
森林整備	植付				
	下刈				
	除伐				
	つる切り				
	間伐				
	枝打ち				

区分	作業種	計 画		実 績	
		数量	延人・日	数量	延人・日
森林保全	歩道作設				
	歩道修理				
	防護策設置				
	看板設置				

区分	作業種	計画	実績	達成率
		延人・日	延人・日	延人・日
森づくり活動の普及啓発	森林教室			
	自然観察会			
	シンポジウム			
	フォーラム			
	森のコンサート			

参考 2 - 4

満足度アンケート調査票

参加者用(森林整備用)

Q1	活動の計画は適切でしたか。	はい	いいえ	わからない
Q2	スケジュールに無理はありませんでしたか	はい	いいえ	わからない
Q3	危険を感じたことはありませんでしたか	はい	いいえ	わからない
Q4	作業は参加者のレベルに合っていましたか	はい	いいえ	わからない
Q5	また参加したいと思いますか	はい	いいえ	わからない
Q6	森林・林業に対する理解が深まりましたか	はい	いいえ	わからない
Q7		はい	いいえ	わからない
Q8		はい	いいえ	わからない
Q9		はい	いいえ	わからない
Q10		はい	いいえ	わからない

主催者(企業、NPO等)用(森林整備用)

Q1	地域関係者とのトラブルはありませんでしたか	はい	いいえ	わからない
Q2	参加者とのトラブルはありませんでしたか	はい	いいえ	わからない
Q3	今後も継続して実施しますか	はい	いいえ	わからない
Q4	活動は円滑に進みましたか	はい	いいえ	わからない
Q5		はい	いいえ	わからない
Q6		はい	いいえ	わからない
Q7		はい	いいえ	わからない
Q8		はい	いいえ	わからない
Q9		はい	いいえ	わからない
Q10		はい	いいえ	わからない

参考 3

森づくり活動の区分と評価事項

区 分			活動のパターン						
活動区分	森林の整備		実施			実施		実施	実施
	森林の保全			実施			実施	実施	実施
	森づくり活動の普及啓発				実施	実施	実施		実施
評価事項	活動実績 (CO2固定などへの貢献)	森林の整備	○	-	-	○	-	○	○
		森林の保全	-	○	-	-	○	○	○
		普及啓発	-	-	×	×	×	-	×
	体制面や地域連携の姿勢		○	○	○	○	○	○	○
	計画の妥当性		○	○	○	○	○	○	○
	関係者の満足度		○	○	○	○	○	○	○

森づくり活動の評価のイメージ

例	植付面積 1 ha	経費負担 延べ参加者数	〇〇企業のみ 60 万円 NPOのみ 100 人・日
---	-----------	----------------	-------------------------------

全体評価

- 実績 CO₂固定量 7 CO₂-ton (他に水源涵養等について評価)
 - 体制面や地域連携の姿勢 80 点
 - 計画の妥当性 70 点
 - 関係者の満足度 60 点
- 合計 210 点

企業、NPOへの配分

区 分		経費による配分	参加者による配分	合計
〇〇企業	CO ₂	3.5 ton (全て負担)	0 ton	3.5 ton
	点数	105 点 (全て負担)	0 点	105 点
NPO	CO ₂	0 ton	3.5 ton (全て負担)	3.5 ton
	点数	0 点	105 点 (全て負担)	105 点

注： 経費、参加者ごとに評価量を 50 % ずつ配分。

例	植付面積 1 ha (うちボランティア 0.5ha、委託 0.5ha) 経費負担 〇〇企業のみ 60 万円 (うち 10 万円は森林組合へ委託) 延べ参加者数 NPO 40 人・日、森林組合 10 人・日 計 50 人・日
---	---

全体評価

- 実績 CO₂固定量 7 CO₂-ton (他に水源涵養等について評価)
 - 体制面や地域連携の姿勢 80 点
 - 計画の妥当性 70 点
 - 関係者の満足度 60 点
- 合計 210 点

企業、NPOへの配分

区 分		経費による配分	参加者による配分	合計
〇〇企業	CO ₂	3.5 ton (全て負担)	0.7 ton (=3.5* 10/50)	4.2 ton
	点数	105 点 (全て負担)	21 点 (=105* 10/50)	126 点
NPO	CO ₂	0 ton	2.8 ton (=3.5* 40/50)	2.8 ton
	点数	0 点	84 点 (=105* 40/50)	84 点

注： 経費、参加者ごとに評価量を 50 % ずつ配分。

スギの場合、一般的な伐期齢 (50 年) 時点での立木材積から CO₂ の固定量を算出

立木材積 400 m³ / ha の場合

400×1.25 (幹以外の材積加算) $\times 0.38$ (スギ比重) $\times 0.5$ (炭素固定率) = 95 t (炭素固定量)

$95 \text{ t} \times 44/12$ (CO₂換算係数) = 348 t / ha (CO₂固定量) $348/50=6.96$ CO₂-ton / 年